

「庄内町立小中学校再編整備実施計画」地域説明会（立川地域） 議事録

日時：令和 7 年 4 月 23 日 午後 7 時～午後 8 時 30 分

場所：庄内町立川複合拠点施設 3 階 ミニホール

<参加者>

住 民 等：40 名

報道関係者：2 名（山形新聞、庄内日報）

教育委員会：13 名

佐藤教育長、齊藤雅子教育委員、清野教育課長、
菅原課長補佐兼学校再編整備室室長、齋藤指導主事、本間指導主事、
池田教育総務係長、長谷部学校教育係長、齋藤教育施設係長、
佐々木学校教育係主任、落合教育総務係主任、
山科学校再編整備室主事、時田教育施設係主事

<質疑応答>

質問 1	
質問者	第四学区 男性
今までの部分について質問というか意見を述べる。昨日も参加して意見を述べたが、思ったことの 1/3 しか伝わらなかったと思うので、また発言する。 今年の 1 月末に山形新聞に統廃合の決定が出てびっくりした。それまで何回も検討委員会を開いたというのはわかるが、去年の広報で検討委員の募集があったそうで、広報を確認したところ、後ろの方のいろいろなお知らせの中の項目のちょっとしたところに公募 1 名とあった。1 名だけの公募でよかったのか。藤島地域で小中学校の統廃合があったとき、20 人くらいの検討委員で検討したが、1/3 くらいの人が統合反対という立場で参加していた。論議をして統合する結論となったが、庄内町の場合、一般公募が 1 名で、他はどう決まったのかはわからないが、決め方についての説明が足りないのではないかと思う。3 月議会でも 6 名の議員から「これでよいのか」「今まで説明してこなかったではないか」「全員協議会に報告はあったが、討論がなかった」「開かれた話し合いがなかった」などの意見があった。多くの町民の願いを聞いてほしかった。 2 つ目は、子ども一人ひとりを大切に育ててほしい。適正規模・適正配置と言っているのは、子どもが少なくなれば効率が悪いということで、企業も儲からなければ、どんどん縮小して大きいところに集めるという効率最優先になるが、子どもを育てるということで言うと、そういう考え方でよいのか。一人ひとりを本当に育てる、本当に一人前の大人になるまでに育てるということから言えば、小さい学校でも優れた実践がたくさんあると思う。小中学校が日本にはたくさんある。最近は統合が増えてきて大きい学校が増えてきているが、トータルすると一番多いのが小学校では全校で 6 学級、中学校では全校で 3	

学級。世界で一番学力が高いと言われているフィンランドは、教育に力を入れている国の一つであるが、1 クラス 15 人～20 人くらいが基本になっている。それ以上にならないようにして、一人ひとりを大切に育てている。体力も学力も一人ひとりにつけていくということ。もう一つ、国連のWHOで学校規模について勧告している。それによると、「児童生徒数が全校で 100 人を上回らないこと」を勧告している。教育的観点からすると、統合する必要はない、むしろ統合してはいけない規模の学校を庄内町は無理に統合するのではないか。フィンランドや国連の勧告から言えば、庄内町の今の小学校、立中はちょうどよい規模だと言える。大きな学校になるといろいろ良いことがあると言っているが、子どもが少なくなれば不安感が増すが、本当に育てるということを考えたら、大きくなれば解決するということとは言えないのではないか。

地域の保護者や地域の方々に聞いてみた。あとで時間があれば発言したい。

回答者	教育課長
-----	------

検討委員会の構成委員については、保護者代表、保育園又は認定こども園の代表、幼稚園長又は学校長、学校運営協議会からの代表者、識見者、公募ということで、それぞれ色々な立場の方から委員になっていただくよう配慮した。町の他の審議会等を見ても、一般的に公募は 1 名ないし 2 名というのが現状である。それにならって、今回の検討委員会についても公募は 1 名とした。公募の 1 名については、立谷沢地区の方が委員となり、貴重なご意見をいただいた。

進捗状況については 11 月の全員協議会で報告した。その時点では実施計画の案がまだできていなかったし、検討委員会で検討中の段階だった。初めから 1 校とする案が優勢であることや、小学校の建設予定地としては響ホール北側が優勢であることをお伝えした。その後、12 月の議会定例会では特に質問等はなかった。実施計画が決定したのが 1 月 29 日だったので、その後の議会定例会が 3 月の定例会だった。

回答者	教育長
-----	-----

データのことはこれからの説明であるが、アンケートのなかで、子どもの教育活動の場としてどういうことを望むかという質問に対して、「多様な考え方に触れる機会や学び合いの機会が大切」という回答が約 7 割、「同学年多人数で広い人間関係のなかで切磋琢磨できる場」が 3 割ということで、町民の声として多かった。

少人数の話があったが、「学習環境で統合したメリットというか多様な見方や考え方、表現の仕方に触れさせることができる」「行事や集団での学習活動がダイナミックとなり、達成感や教育効果が得られやすい」「生活環境に関しては、学級同士が切磋琢磨する環境を作ることができる」「複数学級があるので、仮に 3 人だとすると、多くの教職員がいることにより、様々な角度から子どもを見ることができ、きめ細やかな指導が可能となる」人間関係では「新たな人間関係を構築する力を付けさせることができる」「友達が増える」などの声があった。

また、保護者の声の中には、「子どもの人数が減少し、少人数クラス、またクラス替えがなく、義務教育期間ずっと同じ環境で過ごしている。特に思春期の時期においては、友

達関係に躓くこともあり、それを引きずる結果、不登校等、問題につながるケースもあるので、早期の学校の統合を実現してください」などというご意見もあった。クラス替えを契機として、意欲を新たにすることができるという、複数学級のメリットもある。そういったことも考えていただきたい。

質問 2	
質問者	狩川地区 男性
検討委員会では響ホール北側が望ましいとあるが、この中身だけでなぜ決まったのか。検討委員会の方々の意見としては弱いと思う。 もう 1 つは土地関係の問題。なぜ土地がたくさん余っているのに、なぜ敢えて新しい土地なのか。税金の無駄使いもいいところではないか。どういう経緯でこのように決まったのか。決まりましたよと自信満々で言っているが、知らない人が多くいるのに、決まりましたはないんじゃないのか。 土地を買うにしてもなんにしても、お金がかかる話である。お金のことなしで検討して、子どもたちに税金を負わせるという考え方なのか。	
回答者	課長補佐
経緯について、評価基準、安全性、新中学校との連携、警察署、消防署、役場が近いため有事の際に迅速な対応が可能であること、浸水の関係などを評価し、他の候補地よりも有利であるなど、検討委員会で総合的に判断して、響ホール北側を選択した。 土地が余っているということであるが、統合する小学校については、3 万 5 千㎡～4 万㎡ほどの土地が必要である。町内にはその面積の宅地はない。そのため、農地を求めるような形になった。できるとすれば、立川地域であれば小中学校の土地はあるが、そういうことで響ホール北側とどちらがよいかという最終的な検討になった。総合的に判断して、響ホール北側という選択となった。 一小～三小が築 60 年程度経過して老朽化しており、長寿命化するには対応できない校舎となっている。そのため、新しく学校を建設しなければならない。そうすると、統合小学校とするのか、建て直すのかということになる。保護者アンケートでは、統合して重点的に整備をしてほしいという意見が大半であった。そういうこともあり、検討委員会でも重点的に整備をするという方向で検討してきた。 無駄使いということではなく、経済性を考えて、統合小学校を建設することを考えた。将来の子どもたちのために、より安全な学習環境を整えるためにはどこがよいかということで検討し、響ホール北側という結論に至った。	

質問 3	
質問者	狩川地区 男性
今の質問に関連するが、税金の話。資料によるとスクールバスの費用で差が出るとなっ	

ているが、土地取得、校舎建築のコストが全然入っていない。当然検討はしていると思うが、まだ立中は使える。自分が子どもの時代、分校があった。そういう発想というのは、時代とともに出て来ないのでしょうか。なぜ新しく建てなければならないのか。使えるものを壊して、新たに税金でまた建てる。これは無駄ではないか。	
回答者	課長補佐
(資料によりコスト比較の説明) 響ホール北側が「土地購入費・造成費で約 5 億円、建築費 35 億円で合計 40 億円」、立川小中学校敷地が「増築費 23 億円」となる。金額に開きはあるが、町の負担については、補助金や起債を活用することで、実質の負担は全体の 3 割程度となる。その場合は、響ホール北側が約 12 億円、立川小中学校敷地が約 7 億円となり、約 5 億円の開きとなる。一方、スクールバスの費用だが、年間で約 1 億 6 千万円の開きがある。5 年経てば、立川地域に統合する方が、費用がかかってしまう。スクールバスについては、補助金等がないため、そのまま町の負担となる。そうすると、スクールバスに関する負担費用が年々増加していくということである。あとは、先ほども説明したが、スクールバス運転手の人手不足ということが懸念されている。いくらでも徒歩通学を増やしてスクールバスを減らした方が、将来的には安心できる。そういうことも考え、総合的に判断した。	

質問 4	
質問者	立谷沢地区 保護者 女性
中学校が統合するときに、上の子どもが中学 3 年生、下の子どもが小学 6 年生となる。現在は 1 台のスクールバスで登校している。中学校が開校し、小学校が統合なるまでの期間についてスクールバスはどうなるのか。	
回答者	学校教育係長
統合小学校が響ホール北側に建築された場合は混乗できるが、令和 11 年度、中学校が統合し、小学校は立川小学校に通っているときについては、その時点での児童生徒数からして、おそらく混乗は時間的に難しいと思われる。今後、また児童生徒数を見て検討させていただきたい。	

質問 5	
質問者	狩川地区 男性
こちらに戻って 8 年になる。いろいろ説明を聞くと、響ホール北側という意見がアンケート結果の 76%ということで決まったということだと思う。どちらがメリットあるかと言うと、総合的な意見を見ると響ホール北側がベターで、建設予定費、スクールバスの費用を見ると、響ホール北側の方がよいというのと、アンケート結果から決まったということのようだが、立川地域の反対意見はどのくらいあったか。 立川地域から小中学校がなくなることについて、狩川地区に住んでいる人たちからど	

のような意見があったか知りたい。 76%というのは、単純に旧余目町と旧立川町の人口比率ではないのか。立川地域でも賛成が多くて響ホール北側に決まったということなんでしょうね。	
回答者	教育課長
計画案ができたのが12月末、計画策定が1月の末だったので、約1ヶ月のパブリックコメント期間があり、5件の意見があった。その中には、立川地域在住の方からは「響ホール北側とすることによって、立川地域の地域振興が懸念される」というご意見もあった。それは、学校がなくなることによって地域が廃れるのではないかとということをお大変危惧している意見だった。これまで立谷沢小学校、清川小学校も統合されてなくなってきた経過はあるが、なくなったきっかけとしては、子どもの数が少なくなったことにより学校が統合されたというのが、大きな理由だと思う。広報にも掲載したが、令和6年度の出生数が立川地域全体で10名、令和5年度は7名という人数だった。保護者の声も無視はできないと思う。 地域の方々の学校に対する熱い想いはわかるが、これから立川小学校が1校残った場合に、そこで子育てをする保護者の方々の考えも大切にしなければならないと思ったところだ。実際、検討委員会のなかでも、そういった意見はいただいた。	
回答者	教育総務係長
検討委員会の結果だけを見ると、立川がよいという意見は、たしかに立川地域の委員の意見であった。	

質問6	
質問者	第四学区 保護者 男性
今後の進め方について。資料P7、児童生徒への配慮のところだが、統合すると児童生徒に戸惑いや不安が多いと思うが、スクールカウンセラーがいたら相談できると思う。それは検討しているか。	
回答者	指導主事
現在も国・県の事業で中学校区に年間で210時間、週1回程度、スクールカウンセラーが配置されていて、小学校にも派遣可能である。また、町全体で3名の教育相談専門員、スクールソーシャルワーカーを1名配置している。統合した場合どうなるかについては、これから検討する。複数学級になるメリットはあるものの、大きな学校になって不安を感じる部分は考えられるので、心のケアができるような人員配置となるように町として検討し、国や県の制度なども活用して、子どもたちの心に配慮していくように、今後、ご意見も踏まえて検討していく。	

質問7	
質問者	狩川地区 男性

いろいろなことがあったと思う。よくわかるが、一番問題だったのは、地域住民に十分な説明がなされないまま、いつの間にか決まってしまったような雰囲気になってしまったことだ。例えば自治会長会でも話題にすらならない。もう決まってしまったのかなどの意見があった。これからの子どもたちのことを考えると、みんなの意見を聞いたり、丁寧な説明をするということは、とても大切なことだと思う。誤解を招かないためにも、是非これからはそういうことを十分に行い、本当に意見を聞いて進めていただけるとありがたい。2 年前、中学校のときも話したが、中村から立中まで約 30km ある。（※参考 Google マップの計測では、中村から立中まで約 15km、中村から響ホールまで約 23km）それはどういう距離なのか。狩川駅を起点にすると、新庄まで行く。（※参考 Google マップの計測では、狩川駅から新庄駅まで約 34km）そういう負担を子どもに強いるわけなので、弱い立場の子どもに目を向けて、しっかりに対応してほしい。立川に住めないなんてことになりかねない。これから進めるにあたっては、丁寧な説明、進め方をしてほしい。丁寧に対応していれば、もっとみなさんの納得を得られたのではないか。信頼を失いかねないので、配慮いただきたい。	
回答者	教育課長
大変貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。肝に銘じて、丁寧な説明を今後心がけたい。	

質問 8	
質問者	第四学区 男性
パブリックコメントは確かにあったが、その段階では原案が出ていなかった。だから意見が 5 件しかなかったのだと思う。全町民にわかるように周知したか。なぜ意見が 5 件なのか。だから説明が足りないということだ。新聞に載って初めて知ったという人が多かった。	
回答者	教育総務係長
パブリックコメントを実施するにあたり、今回お配りした実施計画の案を提示したうえで意見を伺った。それに対してパブリックコメントをいただいた。 町民への周知方法は、広報、町のホームページ、各まちづくりセンター、LINE でお知らせした。パブリックコメントを出すかどうかは我々が決めるものではなく、町民が自主的に出すものである。件数についてはどうにもできない。	

質問 9	
質問者	狩川地区 男性
広報をきちんと見ていないということで引け目があって言えなかったが、やはりパブリックコメントというのは、きちんと考える時間、周知する時間を設け、こういった説明をした後にやるべきである。そういう丁寧な進め方が必要だと思う。自治会長会で遊佐町	

の統合のことを聞いたが、丁寧に進めていた。庄内町に比べて小さな規模で統合しやすいというのはあったが、それでもきちんと進めていた。

パブリックコメントの時期については、12月末から1月までの正月休みで忙しい時を狙ったかのように、パブリックコメントがそんなにないことを期待したかのように、思われてもしょうがないという感じだった。そして、山新で見てびっくりした。進め方について、もっと丁寧にしてほしいかった。だまし討ちのようなやり方はないんじゃないか。

個人的には、立中は残してほしいかった。1年前のパブリックコメントに出した。今年は見逃して出さないでしまった。見ていたら出したと思う。ただ、中学校のPTA会長からは、「大勢がいるところで切磋琢磨させたい。やはり、自分の子どもの将来を考えると、そういう結論になるのかな」と言われた。今の親の考え方は変わってきたのかなと感じる。これから先は丁寧に進めてほしい。

回答者	教育課長
-----	------

これから小学校の統合に向けては、町内5つの小学校があって、それぞれ特色のある活動をしているし、地域と深く結びついた活動もしているので、そういったことも新しい小学校にはつないでいかなければならないと思っている。地域のみなさまと、こういった話し合いの機会を重ねながら、良い学校づくりに向かっていければと思っている。

質問 10

質問者	狩川地区 男性
-----	---------

あなたたちは、住民の意見を聞こうとしている気持ちがあるのか。一方的に説明ばかりして、もう決まったからこれで行くよというがあなた方のやり方か。

私が心配しているのは、こんなやり方で行けば、アメリカのトランプじゃないけど、庄内町に分断が起きる。私がか会社にいたときは、広く遍く公平にと、そういう教えをくどいほど言われてきた。利害関係はないと思うが、いろいろなところにいろいろな人が住んでいる。それらを集約した形で、これがベストな案だとすれば、私は何も言わないが、今ごろ説明会なんてやって、反対もなにも聞き入れないような、こんなやり方は本末転倒だと思う。

先ほど、反対する会のチラシをもらったが、期成同盟会が余目の議員だけだ。なぜ立川の議員が出て来ないのか不思議だ。大賛成なんだろうね。

我々はもう先がないので、もう穏やかに暮らすしかないが、せめてわが子には、こんな自然がいっぱいある庄内町をなんとかしてやりたいという気持ちだ。そういう感性を持ってやってくださいよ。お願いします。

回答者	教育長
-----	-----

これから、しっかり丁寧な説明をして進めていきたいので、よろしく願いしたい。